ＪＲ名松線運行再開までの軌跡 Vol.7

来年の春に全線復活するＪＲ名松線は現在、家城駅～伊勢奥津駅間で代行バスによる運行が行われています。家城駅から代行バスに乗り、最初に到着するのは、美杉地域一つ目の駅、伊勢竹原駅です。代行バスは伊勢竹原駅より少し手前にあるバスターミナルに停まるので、伊勢竹原駅までは線路沿いの歩道を２分ほど歩きます。伊勢竹原駅は昔ながらの駅舎が残っていて、駅名の看板には「駅」の旧字体「驛」が使われています。

伊勢竹原駅から30分ほど歩くと、君ヶ野ダムがあります。ダム湖畔には1,000本以上の桜並木が続き、春は湖畔で花見を楽しめます。また、もう少し足を延ばすと、全国でも有名な岐阜県本巣市の根尾谷淡墨ザクラの子孫とされる淡墨桜も見ることができます。

伊勢竹原駅から次の伊勢鎌倉駅まで列車はトンネルを２つ通ります。代行バスが走る県道久居美杉線にも全線通して３つあるトンネルのうち２つがこの区間にあり、大きく蛇行した雲出川を切り立った山が囲んでいるこのあたりの地形を象徴しています。

さて、２つのトンネルを抜け、鉄橋を渡ると、伊勢鎌倉駅です。駅を過ぎるとまたすぐ鉄橋があり、伊勢鎌倉駅は鉄橋と鉄橋に挟まれています。その間およそ250m。このような立地から鉄道ファンの間では、秘境駅の一つとして知られています。

残す駅はあと３つ。いずれも風情のある、名松線らしさを感じることができる駅が続きます。

問い合わせ　名松線復旧推進室　☎264-0140　FAX264-0141

津市公式アプリケーション

津うなび

無料配信中！

Android・iOS
いずれも利用可能

防災情報

行政情報

観光情報

ダウンロードはQRコードから

防災マップ　避難所情報　避難所マップ

問い合わせ　広報課　☎229-3111　FAX229-3339